



刻
の
傷
跡

れつかのきぎずあと

CRIMSON COMICS

クリムゾン コミックス

大好評発売中！！通販に関しては <http://www.alles.or.jp/~uir/> をご覧ください

蝕み 1～4 気高き豹

迂闊にもクリードにつかまってしまったリンスレットは、手下たちの快樂の拷問によってそのプライドを蝕まれていく…。

錯乱した隠遁者・花の壁・絶体絶命・ユウナの敗北

ユウナが訪れた試練の間にいた祈り子は偽者だった。ユウナ、ルーラー、リュックと次々に卑劣な罠にはまって犯されていく長編作品。

翻弄する魔道士

ブラックマジシャンガールの悲痛な叫びは洗脳された師匠に届くことはなかった…。

玉虫色の天使

陰陽連につかまった壺与。鎌足の復讐をうける操。キルバーンの罠にかかったマーム。三本立てジャンプオールドキャラクター本。

温故知新

先輩たちの淫靡な歓迎会によばれる鳥居風。外印に体を調べつくされる薫。ヒュンケルへのみせしめとしてザボエラに犯されるマーム。

実物提示教育 1～3

ギャンザ、ドクター、自分のクローンなどに犯されるイヴ。

セフィリアハード 1～2


通常のクリムゾンよりもハードなシリーズ。星の使徒に捕まったセフィリアが抵抗と絶頂を繰り返す長編。

果実総集編

クラウドを救うため単身で神羅の地下施設にのりこんだティファの長い受難を描いた長編作品。

ネルハード

隠密として鍛えられたネルの肉体と精神が拷問のプロの手によってボロボロにされていく…。



爵位をねらう候弟ラングレンは
リンへの妨害を続けていた

4

しかしリンの軍の
勢力は増すばかり



そんな方法では
ダメですわ
ラングレン様

突如あわられた
謎の女ソーニヤの
助言により
ラングレン軍は撤退

それよりも私に
いい考えが
あります

今までとは
態度を一変して
リン達を
城に迎え入れた

リンは正式に
新侯爵として
即位のために
城に呼ばれた

なんか
ひっかかるな

こんな急に
態度が変わる
なんて…

いざとなったら
これがあるし

でも…まだ
今までのことだって

ラングレン様の
しわざと決まった
わけではないんだし

大丈夫！

それに

スッ

烈火の傷跡
リン編

第一話
「プレッシャー」

作 / カーマイン

それでは
リンデイス殿

この後
神聖な爵位継承の
儀式がありますゆえ

まずはあの部屋で
体をお清め
くださいませ

今のところ
何もないわね

私の考えすぎ
だったのかしら……

え……ええ
分かったわ

失礼いたします
リンデイス様…



それでは
さつそく

え？



ええ…
お体をお清めに
なるのですから

おめしものを
お脱ぎください

脱ぐ…の？

これは
キアラン家の
由緒正しき
儀式なのですよ

大丈夫です
私達しか
いませんから

今まで誰にも裸を
見せたことのないリンは
当然恥ずかしかったが



同性ということでも安心もしたし
何より草原育ちのリンは
何も知らない宮殿の雰囲気
のまれていたため
つい女達の言葉に従ってしまった

あ…あの…

あまり
見ないで…

はい…

それでは…

ストゥ



フフフ

おきれいですわ
リンデイスさま

やっ...

ドキ

ドキ

は...はやく
終わらせて...!



あらあら
どうして
ですか?

ズッ

ズッ

えっ...
だ...だって...







清めの儀式の
最中に
はしたない声
を出すのは
おやめください

あ…
は…はい…



リンは
とまどっていた…

びる
びる



あっ!

あっ…

アイル

アイル

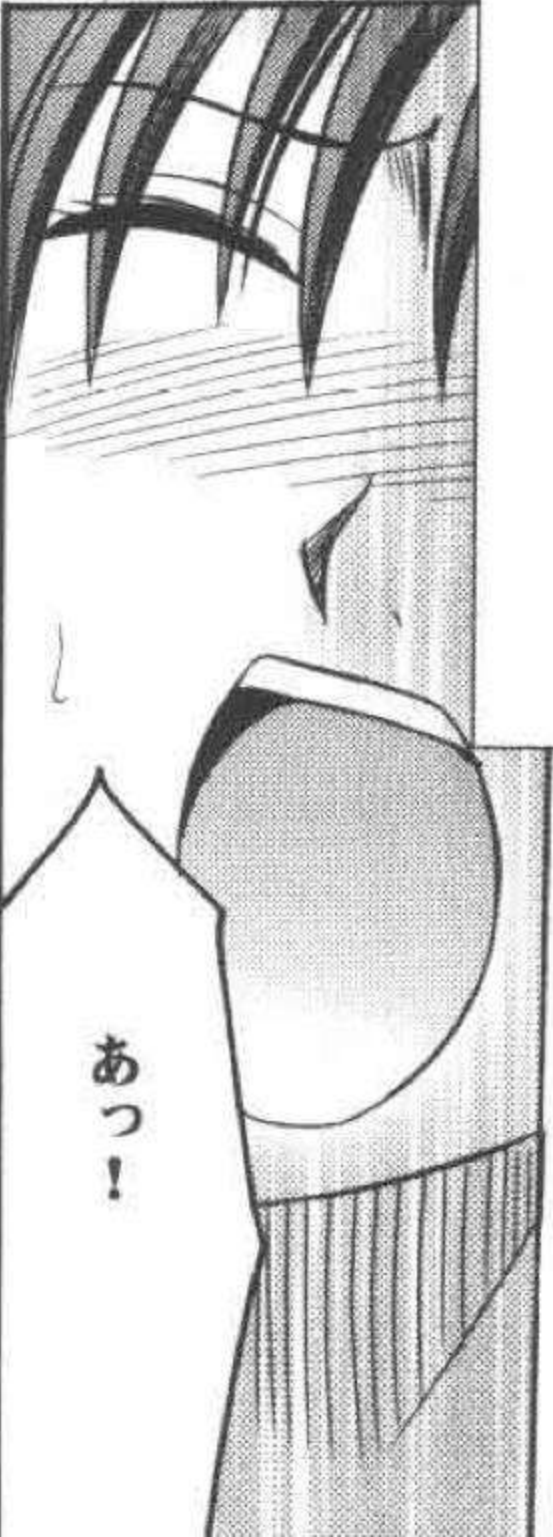
アイル

あ



行われている儀式に
疑問を感じつつも
自分を侯爵の娘だと信じて
ここまで連れてきてくれた
セインやケントたちのためにも
宮殿で公女らしからぬ
ふるまいはすまいとする心が
あったため

「神聖な」や「由緒正しき」という
言葉のプレッシャーにおされ
素直に従ってしまっていた…



また
声を出して…

よくありませんよ
リンデイス様



そ…
そんなことは…
ないけど…

ひよつとして
この神聖な儀式の
最中に卑猥なことを
想像しているのでは
ないですか？

えっ！

なら
いいんです

ド
キッ



ちよつと…
どこを…！

あっ！

おとなしく
していで下さい
ませ

チル

チル

チル

ダメッ…
そんなところろ！

ほら
足を開いて
くださいませ

全てを
清めない
いけない
のです

スッ

体の
すみずみまでね

とくにここは
キレイにしな
なければ
なりませんよ
キアラン家
をつぐ
女としては

やっ！

アッ

アッ



まさか今までに
淫らな経験が
あるのですか？

そ…
そんないと…



あっ！

あっ！…



アッ

アッ



んっ！

ゴクッ

あっ！！

リンは女として成熟した体をもつてはいたが

美しいですよ
リンデイス様のココ
キレイなひとすじで

チルチル

思春期の大半を大草原で一人で
すごしてきたため
このようなことに対する知識は
まったく持っておらず
はじめての快感の衝撃にただ戸惑い
女達のいいなりになるしかなかった

ニチャ

ニチャ



何がおこっているのかもわからない
処女の肉体に
いきなり媚薬をともなつての
全身愛撫は
とても抗いきれるものではなかった

もっと
毅然とした態度を
とっていただけかないと
困ります

ぶる
ぶる

ぽろ

ぽろ

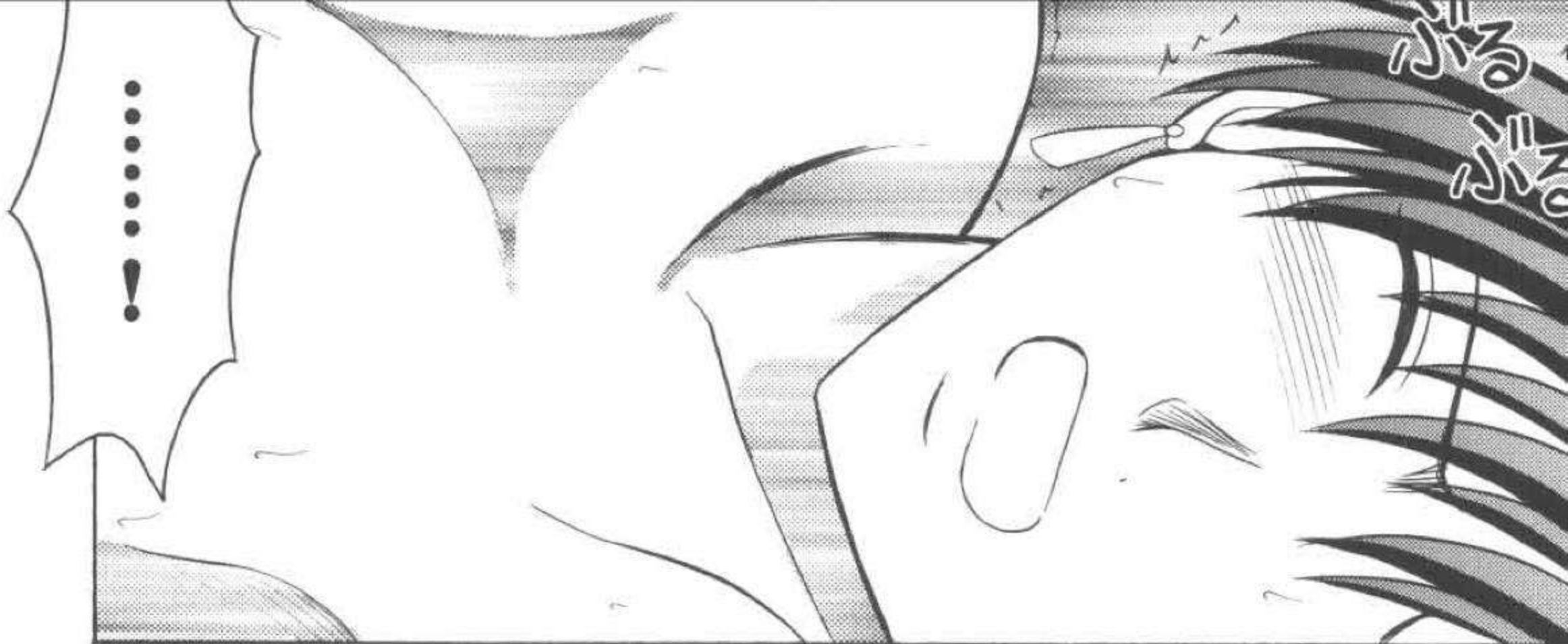
ぽろ

ぽろ

何も
考えられない……!

ああっ……
こんなの……
も……もう……!

ギョッ



ぶる
ぶる

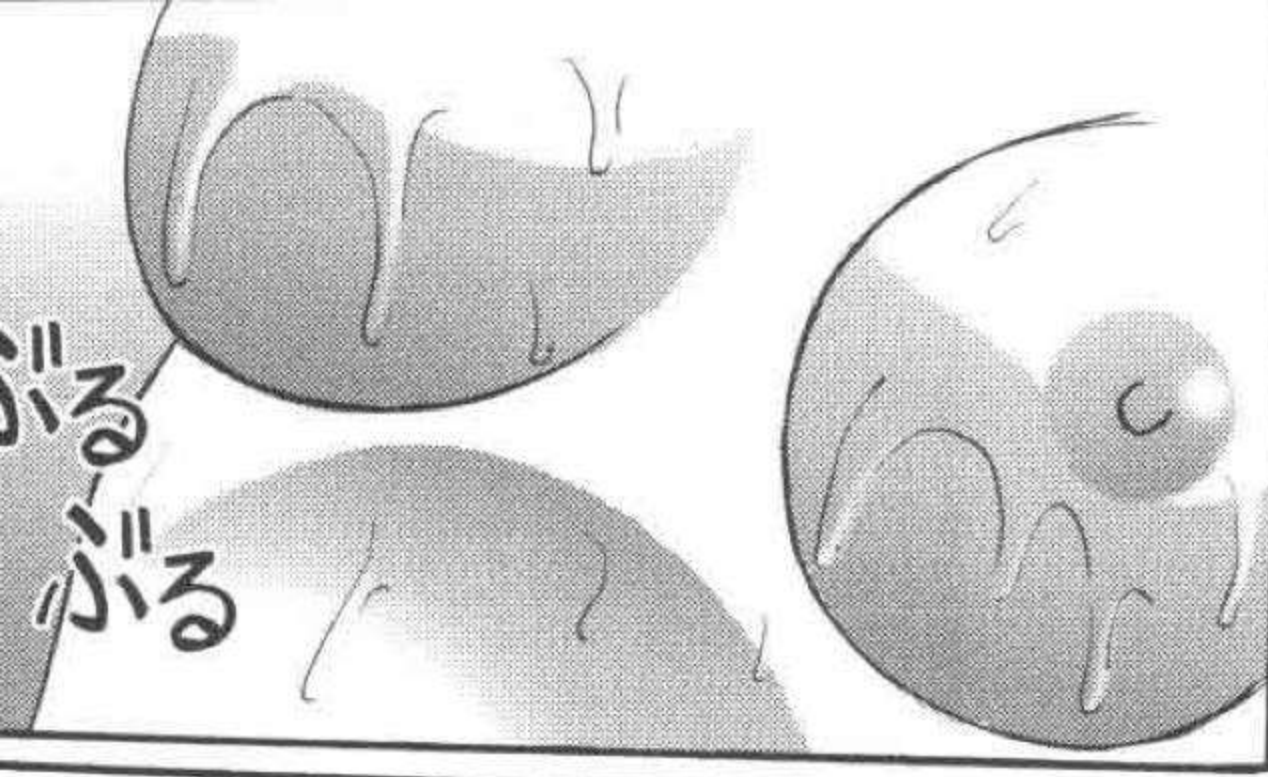
.....!



ド
キッ

!

終わりましたよ
リンデイス様



突如として止められる愛撫



いつ絶頂に達しても
おかしくないような
最高の快感度からの中断は
快感に飲み込まれていた
リンに喪失感を与え
同時に羞恥心も蘇らせた
くすぶりつつける
官能の火と戦いながら
リンは王の間へと
むかった……



クリムゾンHP

<http://www.alles.or.jp/~uir/>

どこよりも早い新刊情報。

詳細見本も掲載中。

通販も行っています。

ダウンロード販売案内。

週替わり特別セールもあります。

HP上でアンケートも行っています。ご協力おねがいします。

リクエスト掲示板も設置。

日記も書いてます。

過去のCGと小説も掲載中。

その他、いろいろな企画を予定しています。

クリムゾンアイ

<http://www.alles.or.jp/~uir/eye/index.htm>

クリムゾンの携帯サイトもできました。

90 120 160 各サイズでの待ち受け画像。

今まで扱ってきたジャンルの女性キャラクターの画像なら

だいたい揃っています。

携帯で新刊情報もチェックできます。

今後、携帯からの通販もできるようにしたいです。

その他、携帯ならではの企画を考案中。



烈火の傷跡

第2話

「性行為への期待感」

作 / カーマイン

汝は新たな決意と
神聖なる御子の……

天の神と地の神に
対していま一度
……

儀式は
長引いていた

リンは体中に媚薬を
塗られたままの状態
でじっとしていなければならず

服の中でわきあがる
疼きに対して何の対処も
することができなかつた



スッ
スッ

はやく……はやく
終わって……



あ……ああ……
ダメ……つらい……



ぶる
ぶる

……!



剣となりて
万人に対し……



ぶる
ぶる

汝のこれを持ち
いかなるときも
……



も……もうダメツ

ぶる
ぶる

絶対さつき
塗られた液体のせいだわ!

キ
キ

28

今すぐ服を脱いで
体中を
かきまわしたい……!

でも……!
ガマンしなきゃ……!

ぶる
ぶる

ぶる
ぶる

つい数十分前
快感を教えこまれた
ばかりの若い肉体は
燃え上がる性欲を
コントロールすることが
できなかつた

かといつて
こんな厳かな場所で一人
乱れるわけにもいかず

耐えようとするリンは
卑猥にもだえるような
動きをしてしまっていた

ぶる
ぶる

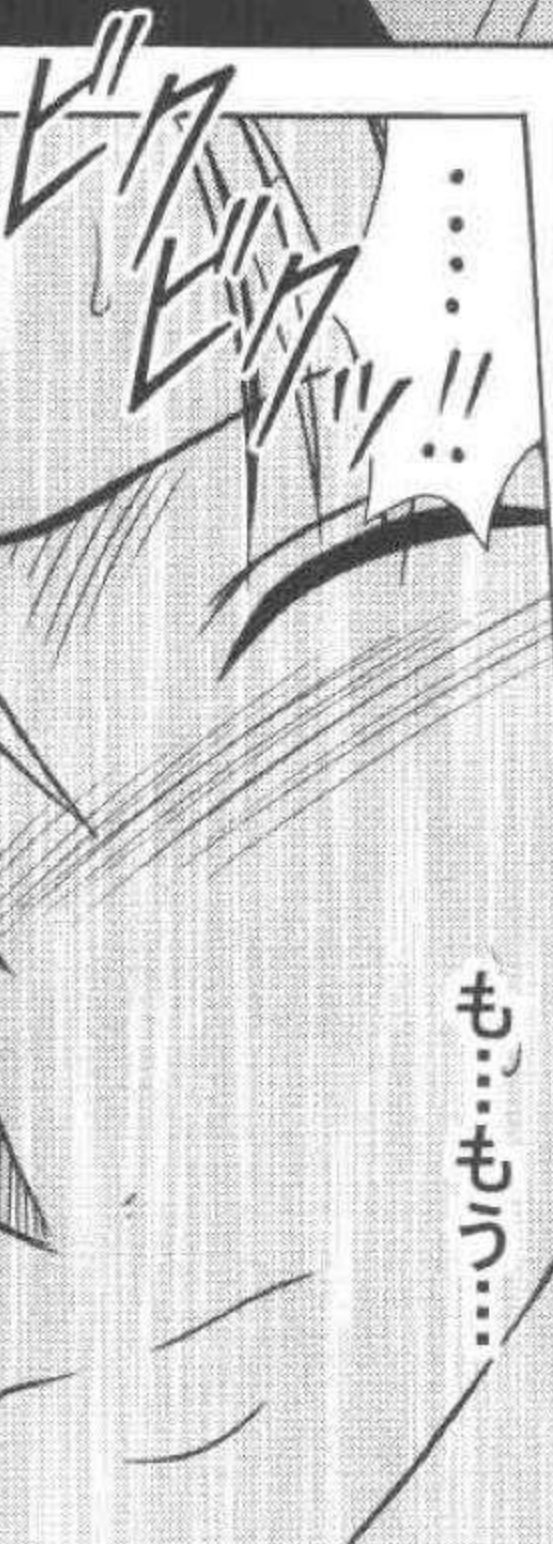
ああっ…ダメ
見ないで…

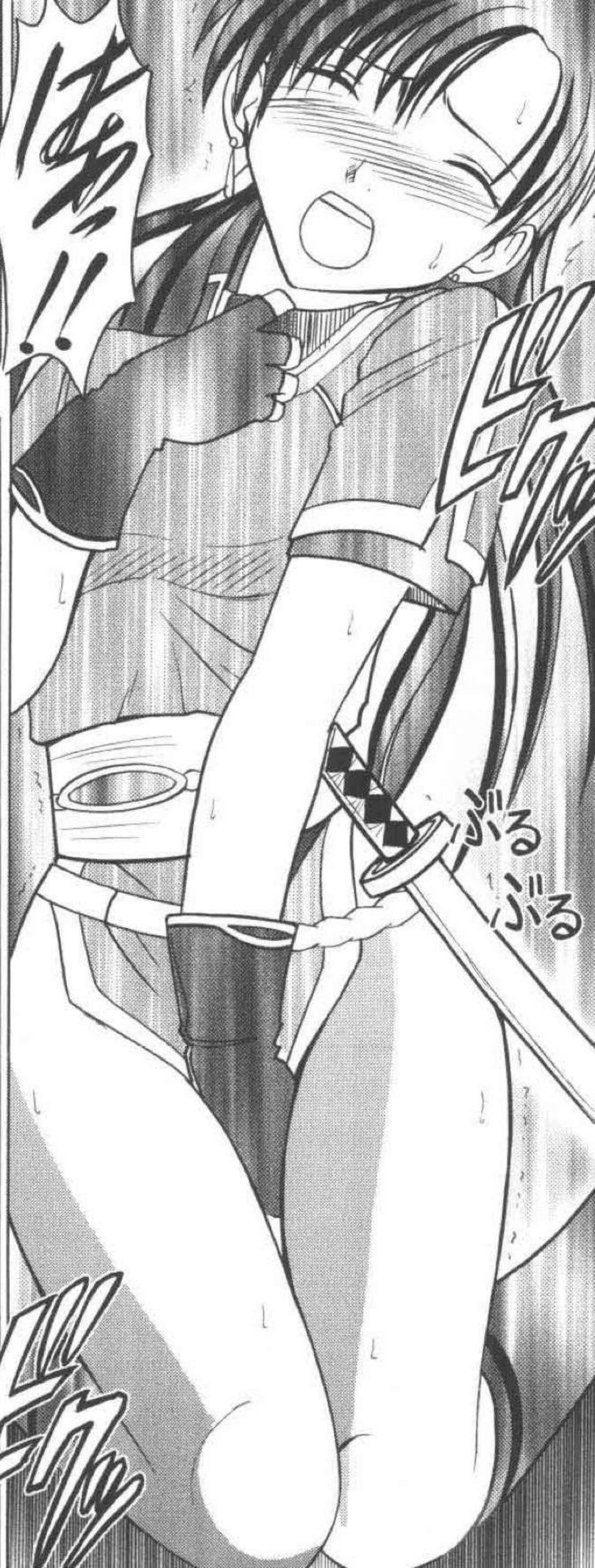
ぶる
ぶる

見られると
余計に…

ぶる
ぶる

も…もっ…





もじもじとした動きから
いつしか周囲にも
はつきりと分かるほど
もたえ始めるリン
しかしまわり気にする余裕も
ないほど疼きは限界まで
少女の体を蝕んでいた

リンの口から声が漏れ
それを合図にしたかのように
まわりの男達が
いっせいにリンによってきた



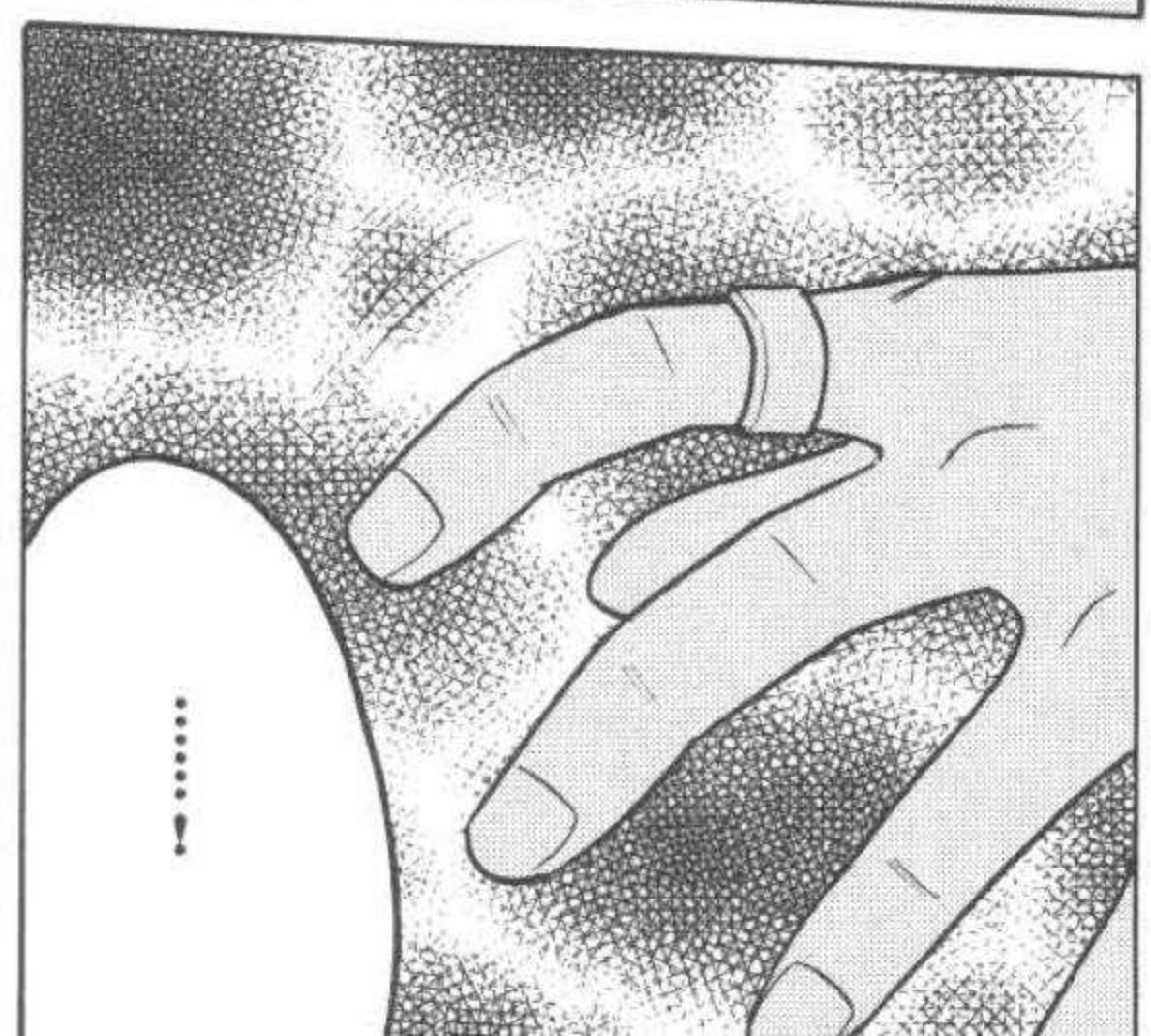
おやおや
どうしましたか
リンデイス殿

カッ

体調が
悪いのですか？



やつ…
何！



……！



通常なら絶対に
抵抗するであろうが

屈辱よりも
性行為への期待感が
大きくなりつつあった

もぞもぞ
もぞ

ムニ

ビクッ

ムニ

ビクッ

んっ!!

もぞ

もぞ

びる
びる

長時間にわたる
じらしによって
完全に理性を狂わされ

敏感な体のあちこちから
送り込まれてくる
衝撃的な快感が
リンの性的欲求を
ますます駆り立てる



ちよつと
足を開いて
みましよう

あつ！



ほあ



んっ！

もみ

んっー

もみ

もみ

もみ



すこい
濡れかただ
ククク





そうか…
さっきの間に…



折られてる…!!

その瞬間
刀と一緒に
リンの心も
折れてしまった…

「もう反撃する手段がない」
そのことがいいわけとなり
リンの心は
性行為への期待感のほうに
完全にうわまわってしまった

や……やめて……

いい体ですな
リンデイス殿



ほらほら

こうして直に
さわって
欲しかったの
でしょう？

あなたのように
うぶで健康な少女に
この媚薬づけの
状態でのガマンは
さぞつらかった
でしょうなあ

だめ…
気持ち…よすぎてる…

グリグリ

ツツツ

……っ！！

ポロ

ポロ

ムニ

ムニ

ムニ

ムニ



あっ!

あっ!

ピチヤ

ピチヤ

ピチヤ

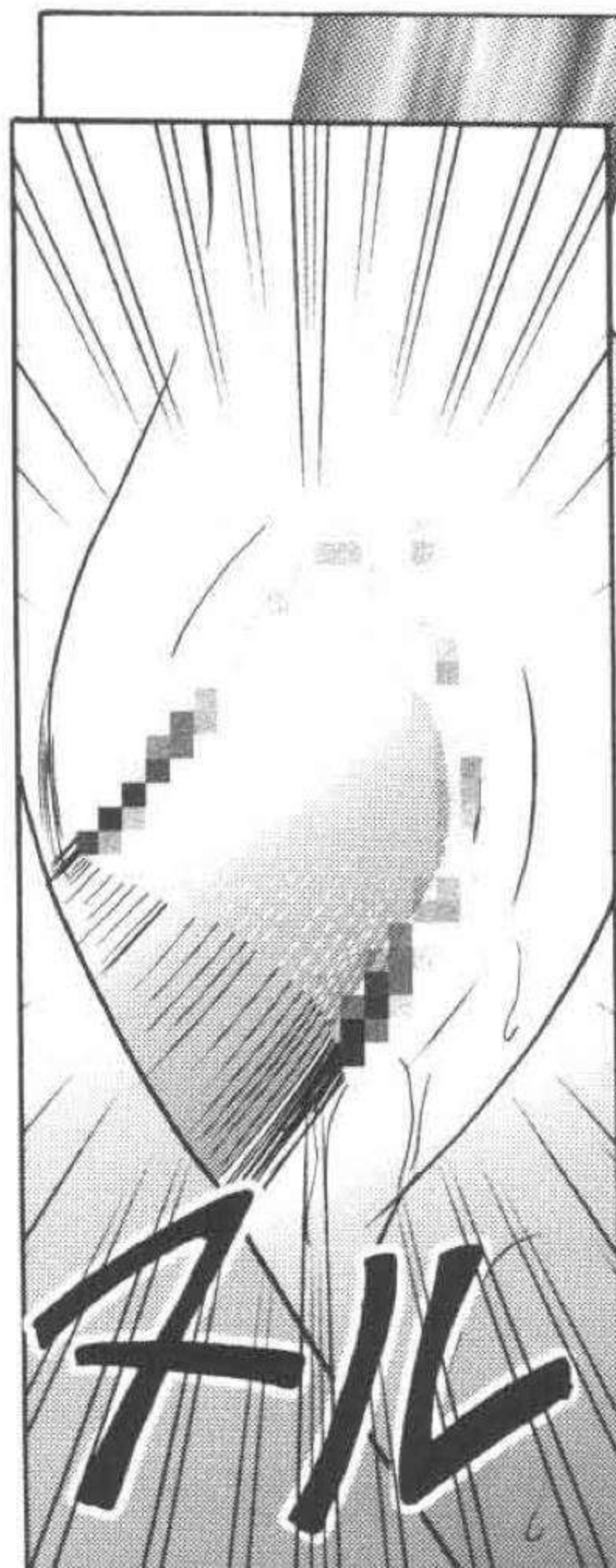
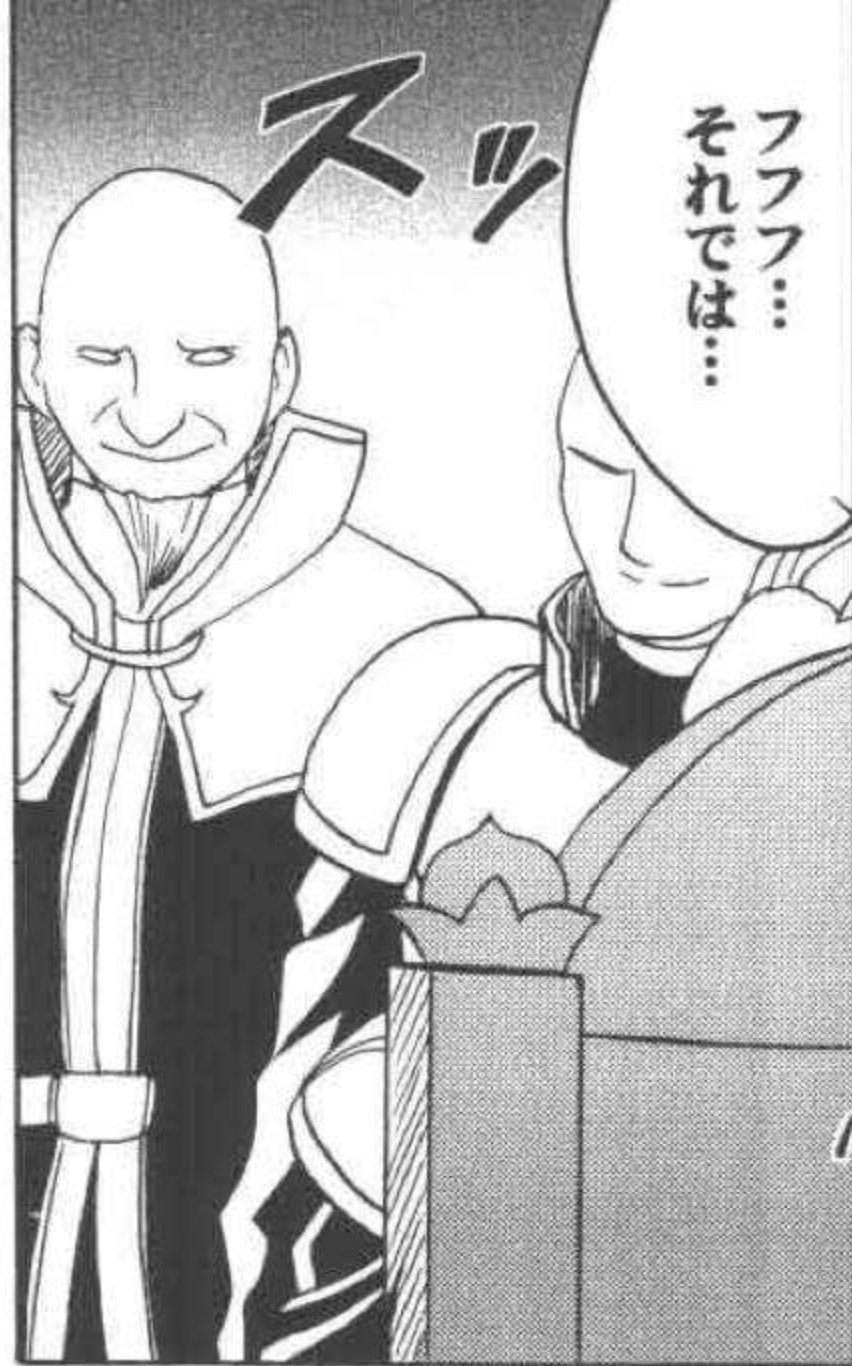
ピチヤ

ピチヤ

くちゅ

くちゅ

もう
思う存分
感じていいの
ですぞ





FIL



おやおや
どうしましたか？



えっ……！

……！



あっ……

ぶる
ぶる

う……



そ……そんな
だ……ダメッ……

ぶる
ぶる

あっ……

ガマンできない……！！

あ

……！！

あ





おねがい…
つづきを…

おつきの
続きを…

ギョッ



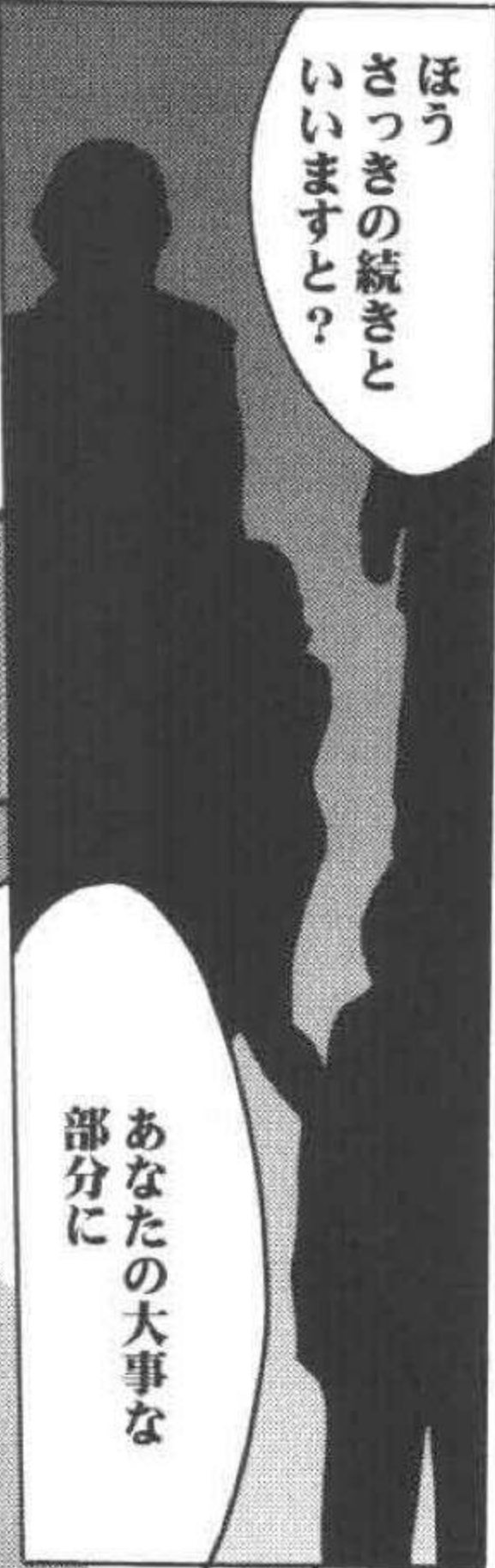
コレを…



入れてほしいと
いうことですか？

ドキッ

…!



ほう
さつきの続きと
いいますと？

あなたの大事な
部分に



おねがい!
もう...
じらさなさい!

びびる
びびる

はやく...!



フィル

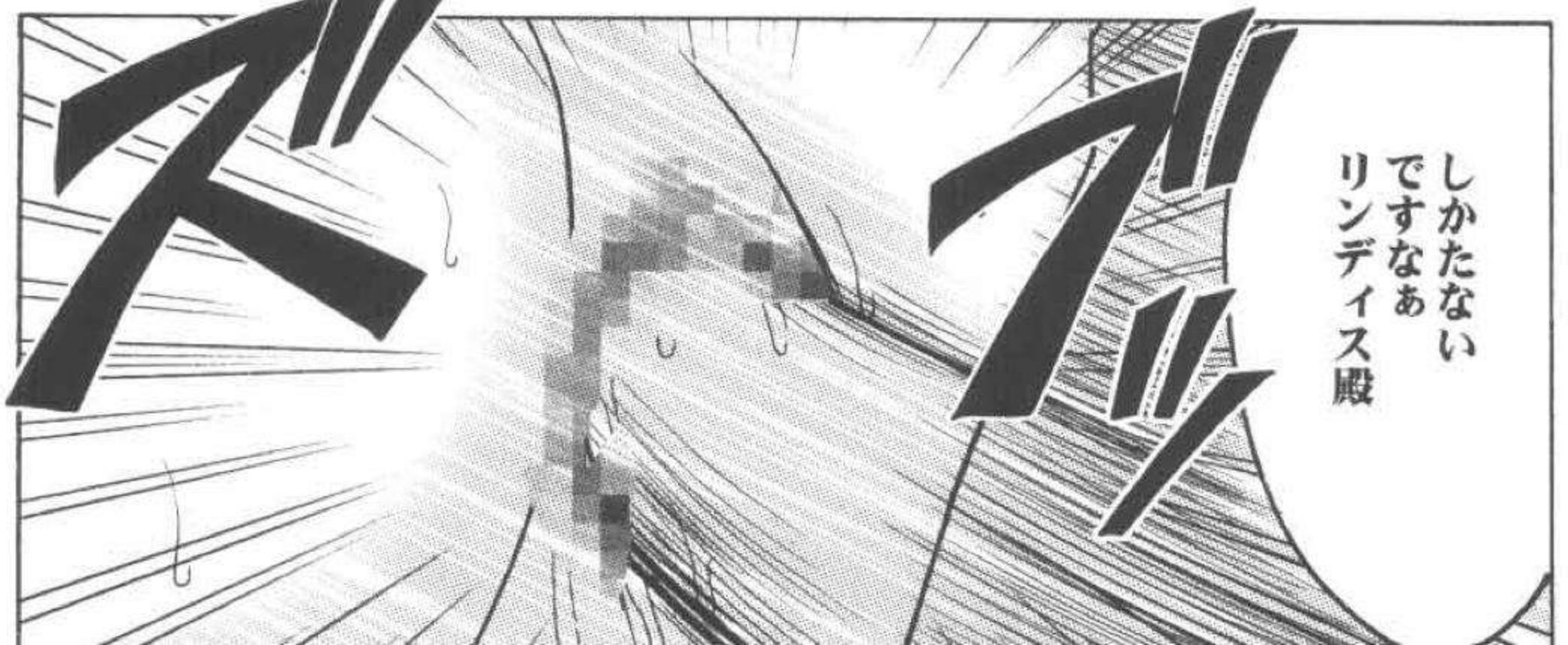


あつ...



フィル

フィル



フィル

フィル

しかたない
ですなあ
リンデイス殿







あーんんんんん...

奥に...
あたるのが...

きゅんんんんん...

ガッ

んんん

ガッ

ガッ



一度
弱いポイントを
突き崩された少女は

あっけなくペニスに
支配され
犯される喜びを
甘受していた



ひと突きごとに
あえぎ声をもらし

はげしく早く突かれ始めると
どんどん声は高くなり
声にならないほど
鳴かされていた



烈火の傷跡

**レベツカ編
「弓兵の驕り」**

作 / カーマイン



ザコの騎士たちにかこまれたレベッカ。

エリウッド軍の中でも最強の弓兵である

レベッカはまともに戦えばこんな

ザコたちに負けることはない。

しかし弓兵であるがゆえ

近接されて四方を囲まれては

どうすることもできない。

騎士たちは腕力にまかせてレベッカの

腕を押さえつけ、彼女の抵抗手段を奪う。

焦るレベッカ。

騎士たちの表情は卑猥な笑いに満ちていた。

前方の男に押さえつけられて

尻を突き出すような格好にされ

それと同時に後方の男がミニスカートを

めくりあげ、一気に下着をずらす。

「やああっ！」



予想もしなかった事態にパニックに陥り

まともな思考ができなくなるレベッカ。

しなやかなボディをくねらせ、四方から押さえつけられた肉体を震わせ耐える。

唯一自由に動く頭を左右いっばいに振り、抵抗の意思を見せる。

「やめてっ！やめてえっ！」

プロテクターははずされ胸を鷲づかみにされる。下着を脱がされた股間には無数の指が横行し、無慈悲な愛撫が繰り広げられる。



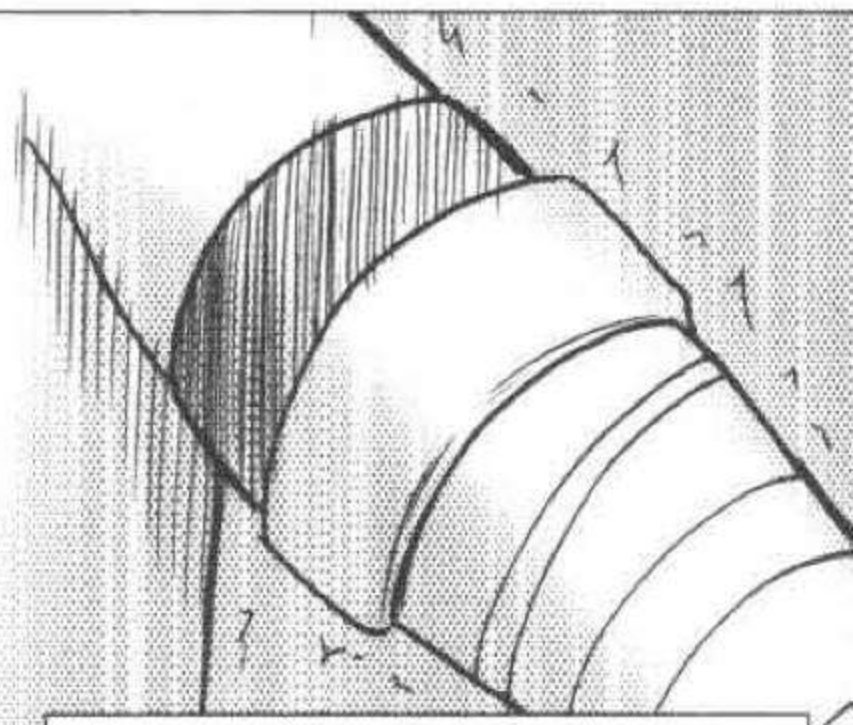
木に縛り付けられたレベツカは片足を持ち上げられ
そのまま濡れた秘部に男根を挿入される。

「あああつー！」

エリウッドに憧れ軍に入った少女の夢は

無残にも砕かれ、これからさらにあと4人もの

男に汚される絶望感にうちひしがれていた。



結局、何も出来ないまま

中だしまでされた。

レイブ慣れしている男達は

まるでモノを扱うかのように

手際よくレベツカを犯し続けた。

烈火の傷跡

ルイーズ編

「留守中の情事」

作 / カーマイン

夫パントは戦場に出撃していた。

ルイーズは今回の戦闘には参加できず、拠点で留守番をしていた。

ルイーズが部屋で休もうと廊下を歩いていると、突如何者かに後ろから抱きつかれた。



「だ…誰？」

それはルイーズの知らない男であった。おそらくエリウッド軍の新米兵士の中の誰かなのであろう。

「ルイーズさん…オレ…もうガマンできないんです！」

「ちよつと…私は…」

「知ってますよ…アナタが人妻だってことくらい…」

でもそんなの関係ない…！」

男は力任せにルイーズの髪を引っ張り、

自分の股間のほうに頭を寄せ付け、強引にくわえさせた。

「んんっ！」

歯を立てて抵抗することもできたかもしれないが

心優しいルイーズにはそんなことは不可能だった。

男は押さえつけた頭を上下に動かし、

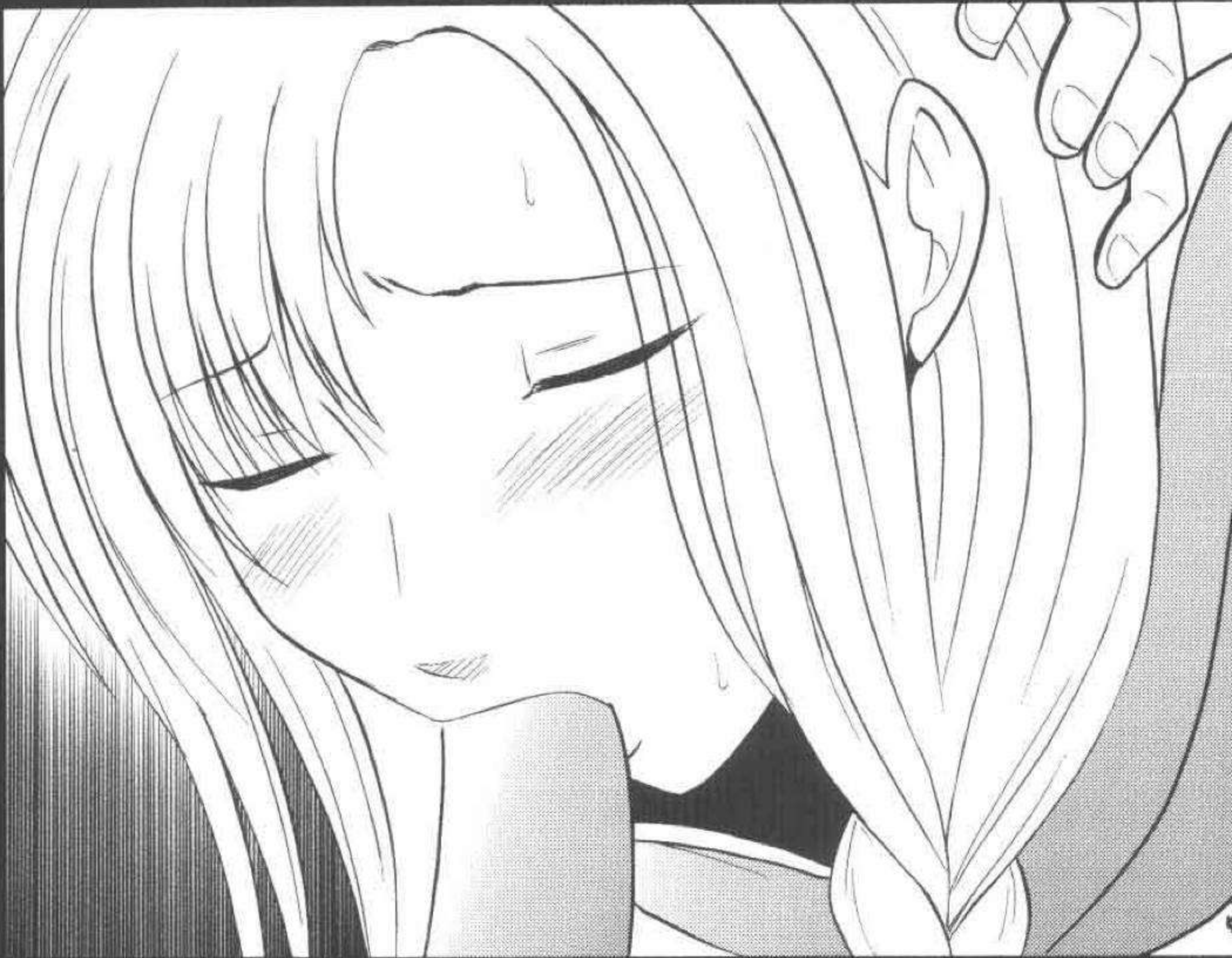
美しい人妻にフェラチオを強制させる。

苦悶の表情をうかべるルイーズとは対照的に

男の欲望はさらに加速していく。

このまま口ではなく膣内に出したい—

そんな身勝手な欲望がさらなる背徳行為に走らせた。



ルイーズを抱え上げ、そのまま彼女の部屋に入りこみ
ベッドに両手を縛りつける。

「いやっ！ ダメッ！ 私……！」

「もうここまで来たんだ、あきらめな」

若い兵士の目は血走っていた。もう何を言っても
聞きそうになかった。

グイッと膝をつかんで左右に広げ、一気に子宮口まで
突き上げられた。

「いいッ！ 最高だ！ 人妻とは思えない！」

「ダメッ！ ダメエッ！」

人妻とは言ってもまだまだ若いルイーズは

ひとたび男に体を支配されると、まるで少女のように
泣き喘ぎはじめた。

「どうだッ 気持ちいいだろ？ 夫のよりもイイと言え！」

「あっ！ ああっ！ はあッ！」

あまりに荒々しいピストン攻撃に言葉を失うルイーズ。

「みんなには黙っておいてやる、これからも
定期的にかわいがってやるぜ」

どくっ… どくっ…！



あとがき

私はいろいろなジャンルの同人誌を描いていますが、最も好きなのはファイアーエムブレムですね。

かなり古参のFE信者です。もちろん初めにやったのはファミコン版の暗黒竜と光の剣です。

説明書を読まずにはじめたので、ステージのクリアの仕方（城を制圧）が分からなかったりしたのを今でもおぼえています。

今まで20人くらいに布教してきました。とくに高校時代はクラスの1/4くらいはFEをやっていたと思います。

その当時からマンガは描いていて（エロではないけど…）、ファイアーエムブレムオリジナルストーリーみたいなのを描いてみんなに見せていました。ジョルジュが悪役になるというような内容でした。

今までのFEと違って今回の烈火の剣は主役級に女性キャラクターがいたのでもう迷わず同人誌にしちゃいましたね。リンかわいいですよ。

FEは毎度、たくさんの女性キャラクターが登場して、プレイヤーによって好みがかなり分かれるところではないかと思いますが

今回はリンはとりあえず多くのプレイヤーに安定して愛されているのではないのでしょうか？

集団モルフに犯されるような内容がいい、という意見が多かったのですがどうもストーリーを考えていたらモルフだと

モルフ自体に性欲がなく味気ない感じがしたのでやめました。

リンが田舎娘であるということを利用したかったのでこういうストーリーになりました。

ここまではっきりと墮ちるのは

最後まで抵抗を続けるパターンが多いクリムゾンコミックスでは珍しいと思います。1、2を争う墮ちっぷりですね。

えっちではないシーンが途中多すぎて間延びしているのではないかと、という感じもしますが、そういうのも好きな人もいるようなので今回はこれでいいかな、と思います。

おまけのルイーズとレベッカは

ルイーズはわりと良いかと思います。レベッカはちょっと…。

プレイ結果

まあどっちでもいいコーナーかとは思いますが私のプレイ結果を書いておきます。

最終 レギュラー級メンバー

エリウッド 主人公なので…。そこそこ強いッス。

ヘクトル 斧系唯一。守備力がかなり高かった。

リン 守備が弱いので微妙に使いづらい。主力とはいえなかったかなあ。

エルク 魔道士系なのに守備が高かった。安定してレギュラー。

ジャファル 今回の男性キャラの中で一番スキ。まあ強いでしょ…。

パント はじめから強いんだもん…。

フィオーラ 数少ない女性レギュラー。ブーツ使って大活躍。

セイン ソシアルでは一番育った。でも主力ではなかったかな…。

ロウエン どちらかという壁役のような使い方をした。

ラス アファのしずくを使った。一番活躍したと思う。騎馬弓兵好きです。

準レギュラー

カレル ソードマスターということで。成長が中途半端でした。

ケント セイン、ロウエンにおされて準レギュラーに降格。

プリシラ 他の魔道キャラが回復できるようになってからはあまり…。

ラガルト 盗賊としては盗み、鍵あけに活躍。戦闘はそこそこ。

レイヴァン 育ててたけどあんまり強くならなかった…。

ホークアイ はじめから強いので…。

苦戦したマップは23章の四牙襲来（ライナス）です。

なぜか凡ミス連発で3回くらいやりなおしました。

あとは4章でナタリーを殺されてゲームオーバーになったのと

20章で暗闇からやられたくらいで

他はノーミスでいきました。ただし初回は仲間は全部集められませんでした。

ラス、フィオーラ、パント、エルクがメインの活躍をした感じです。

私はアーマー系はあまりスキではないので毎度使ってません。

オズインとかは強いらしいんですけどね。

支援はほとんど発生しませんでした。エリウッドとヘクトルくらい。

はやく次回作がやりたいな～。

もはや戦いではない / 単なるレイプショーだ



いやこれは
あえぎ声
でしょうか！

セフィリア
悲鳴を上げている！



ロープの反動を
使ったの
激しい
ピストンだ！

セフィリア
何も出来ません！
ただロープに
しがみつくのみ！



狂められながら
中もかき回されて
います！

セフィリアの
美しい体が
二人の男に
蹂躪されている！



チャンスが……

また……
まだチャンスはある

結局
クリッドの思い通りに
なってしまうのか……

星の使途につかまったセフィリアは地下の格闘技人会に出場させられる。ナノマシンで体を敏感にされているセフィリアはまともに戦えるはずもなくおまけに反則や性的な責めばかりを受けてその恥ずかしい光景は見世物にされ生々しい実況や下卑た欲声、巨大スクリーンのアップ映像がよけいに高貴なセフィリアの羞恥をあおる。そして最後には人間として最大の屈辱がまっていた…。

セフィリアハード好評発売中



初刷 2003年7月10日 発行

「クリムゾン」PRESENTS

烈火の傷跡

発行者／カーマイン

<http://www.alles.or.jp/~uir>

印刷 大陽出版株式会社さま



禁 無断転載

「おねがい…もうじらさないで…！」



疑問を感じつつも
自分を侯爵の娘だと信じて
ここまで連れてきてくれた
セインやケントたちのためにも
宮殿で公女らしくからぬ
ふるまいはすまいとすする心が
あったため

神言素



そうですよ
リンデイス様

え？
ここが
お清めツツ？



ほら
胸を隠さずた…



もう
思う存分
感じていいの
ですぞ

それは卑劣な畏だった。長時間におよぶ疼きとの戦い。
つい数十分前に快感を教え込まれたばかりの若い肉体は
燃え上がる性欲をコントロールすることができなかった…。

FOR ADULT ONLY